



「当たり前」のレベルを上げるために

校長 富士 健一



「ちゃんとやろう！」

11月13日(月)雨降りの朝、インフルエンザや発熱による欠席連絡が相次ぐ中、がんばって登校してきた僅かな人数の1・2年生。がらんとした先生不在の教室で8時5分の始業と共に2年生児童の一人が言った言葉。15名中5名しか登校してきていない状況に疑問や不安を持ちながらも、自分たちのやるべきことをお互いに声を掛け合って確認し、朝読書や朝の会にしっかり取り組む姿を見て、素晴らしい子供たちだなと感心し、その時の様子をブログでも紹介しました。



「いつもと違う状況でいつもと同じ行動をすること」。それは、できそうでなかなかできるものではありません。大概が、状況に惑わされたり気持ちが乱されたりして、いつも通りとはかけ離れた行動をしてしまいがちなものです。ましてや低学年の子供たち。先生の指示や説明がない中、自分たちで日常のルーティンとしての当たり前を大切に「ちゃんとやろう」とした行動は、私自身が目指す「夢いっぱい、楽しみいっぱい、幸せいっぱい」の学校における「自立した子供」を代表する姿として、また、心を鍛えられて成長する素敵な姿として、私の目には映りました。

ところで、先月号ではヨシタケシンスケ作「みえるとか みえないとか」を題材に、「**いろいろな当たり前を尊重するために**」心の距離を近づけることの大切さをお伝えしました。しかし、ここで間違っ**てはいけないのは、「人の存在そのものに係る当たり前」は、何をおいてでも尊重しなければならぬもの**のだけれども、「人の心の有り様や行動レベルに係る当たり前」の中には、認めてはいけないものや尊重すべきではないものもあるということです。「**やりたいことしかししないで、わがままを通すのが当たり前、手を抜いてサボるのが当たり前、無責任で人任せなのが当たり前、他人のせいにするのが当たり前、うそをついて人をだますのが当たり前、軽い気持ちで人をからかうのが当たり前、弱い立場の人をいじめるのが当たり前、偏見を持って人を差別するのが当たり前、暴言暴力で人を脅すのが当たり前、命を軽視した行為が当たり前**…」そんな当たり前を認め、尊重してしまったら、多くの方が共存共栄する社会は成り立たず、殺伐とした無秩序な世の中になってしまいます。だから、人の存在そのものを否定したり疑ったりすることは、人権尊重上絶対にしないことを前提として、人と人とが共に生きやすく暮らせるための行動を当たり前にするようにしていくことが大切なのです。

さて、今年度本校のスクールプランにおいて、私は、教職員に求められる意識・姿勢として「**当たり前をやりきり、当たり前を疑い、当たり前のレベルを上げる**」ことを明記し、私自身の行動や発するメッセージを通して、日々それを求めています。けれども、「**当たり前のことをちゃんとしなさい**」という言葉^{を常に守り、今、目の前にある「当たり前をやり切る」こと自体、かなり難しいことだとも思っています。それは、人によって、当たり前という価値の認識や基準がそもそも違っていたり、その場に}応じた**当たり前の捉え方が人によって違うことにより同じ集団の中で意識や行動に大きなズレが生じてしまったりするためであり、まして、当たり前をやり切ろうとする努力が良い結果に結びつかなかつたり悪い状況を生み出してしまったりすると、とても悔しく空しい気持ちになってしまうから**です。だから、「**①まずは、みんなで当たり前に必要なことを決めて守っていきこうと約束すること**」→「**②次に、決めた当たり前のことをやりきる努力をすること**」→「**③その上で、決められた当たり前が本当に正しいのかどうかを疑ってみること**」→「**④そして、日々の言動を振り返って当たり前をフラッシュアップし、レベルを引き上げていくこと**」というふうに、集団の中にいる自分が、当たり前と向き合**ってちゃんとやれるよう段階的に道筋をつけて歩み、今ある当たり前を客観的に評価しながら進む必要がある**と思っています。

2023年も、あと1ヶ月で終り。今の自分が持っている**当たり前のレベルを、次にやってくる2024年に向けてさらにレベルアップするために、1年の締め括りをしっかりと行っていきましょ**う。

＜教職員の声＞ 12月は 参河 利城（みかわ としき）先生のコーナーです。

【 植物 - 力強く生きる 】

私は宮川地区で生まれ、小さな頃は野山を駆けまわって遊んでいました。秘密基地を作ったり、お手製の弓矢で梨狩りをしたり、稲刈りが終わった田んぼで鬼ごっこをしたり。傷だらけ泥だらけの毎日でした。そんな私が好きだったものの1つが植物です。古い家のまわりにはたくさんの植物があり、季節ごとに咲く花のきれいさに感動したり、祖父母が育てた野菜をたくさん食べたりして大きくなりました。こんな原体験が、理科の先生という今につながっています。

植物を好きになったのは、力強く生きている姿に感動したからです。動物のように動き回れないし、人間のようにおしゃべりできませんが、かれらは少しずつ、しかし確実に大きくなっていきます。根を伸ばし、葉をしげらせ、幹を太くしていく。宮川地区にも口名田地区にも大きくて立派な樹がたくさんありますよね。それらは私たち人間が生きるよりもずっと長い年月を生きているのです。すごく暑くてしおれそうだった日、雨風が強くて倒れそうだった日、虫や動物にかじられそうだった日。きっと大きくなるまでにいろんなことがあったのだろうなあと想像し、すごいなあと感動します。学校の先生になり、たくさんの人とつながって生きる毎日ですが、一方でしゃべらないし動かない植物の力強く生きる姿を見つけるたびに感動する毎日でもあります。私も植物のようにいろんな毎日を重ねて力強く生きていきたいなあ。



＜わたしのこえ＞ ～11月号返信より～

- ぶじ、学校が再開してよかったです。 ・こうちょう先生は、ぼくたちのいいがたを見て書いてくれていてうれしいです。
- よしおか先生は4年生からピアノをされていてすごいと思いました。わたしもピアノをなっているけど、わたしも長くピアノをしたいです。
- 「みえるとかみえないとか」で、みえない人の気持ちがつたわりました。
- 「みえるとかみえないとか」で、みためがちがっても、みんな楽しいことがあったから、おもしろかったです。
- ひきざんとたしざんを、もっとはやくになりたいです。
- 野球で、とびこんでキャッチを試みたいです。
- 習い事の剣道大会で準優勝したので嬉しかったです。
- 11月のタイピングコンテストで練習して1位をとりたいです。
- クロスカントリー大会の練習でぬかしたい人をがんばってぬかしたいです。
- 陸上大会で、みんなに「がんばったね」「すごいね」など、いろいろ言われてうれしかったです。
- 学校のステージでRPGの練習をやっていました。その時に、1年生や2・3・4年生がずっと私たちの方を向いてしんげんに聴いてくれていたのが嬉しかったです。本番が楽しみになってきました。
- RPGをおぼえることをがんばりました。音楽会ではしっばいせずひくようにしたいです。 ・音楽会のRPG、虹をがんばります。
- 音楽会では夏休みから練習してきた成果を発揮したいです。
- 音楽会の練習の時によしおか先生が上手になったねと言ってくれて心があたたかくなりました。 ・音楽会で上手くいくように練習しました。
- RPGの楽しさを見なくてもできるようにになりました。
- 音楽練習をがんばって、完ぺきな演奏になってよかったです。ふるさとまつりでも頑張ります。 ・音楽会の練習をがんばったと思います。毎日、休み時間に練習したからです。
- 今まで練習してきた楽器を上手にひきたいです。
- 「虹」の伴奏は緊張するけどがんばりたいです。
- 1週間みんなで練習できなかったけど、音楽会本番は上手く行ってよかったです。
- インフルでできなかったけど、がんばりました。



－12月～1月初めの行事予定－

- ☆11/27(月)～12/8(金)校内人権週間☆
- ☆12/4(月)～8(金)教育相談週間☆
- ☆12/1(金)～5(火)図工美術作品展(若狭図書学習センター)
- 1日(金)学校だより発行日、PTA 登校指導
芸術鑑賞②セントラル愛知交響楽団
オーケストラ公演(児童共演・学校公開)
- 4日(月)PTA 登校指導、秋まつり(1・2年)
- 5日(火)、6日(水)SASA2023 県学力調査(5年)
- 6日(水)リモート交流(あおぞら)、クラブ
- 7日(木)SC 訪問日、学年末漢字テスト、集会
- 8日(金)読み聞かせ、学年末算数テスト
- 10日(日)世界人権デー、小浜第九演奏会
- 13日(水)委員会
- 14日(木)米舞くらぶ感謝の会・しめ縄作り(5年)
- 15日(金)学校集金日
- 20日(水)給食最終日 15:00 下校
大掃除、ワックスがけ
- 21日(木)教育懇談会 10:35 下校
- 22日(金)第2学期終業式
地区別子供会 11:30 下校
- 24日(日)冬季休業(～1/7)
※12/23(土)と1/8(月・祝)もお休み
- 29日(金)～1/3(水)学校閉庁日
- 1/9(火)第3学期始業式
- 1/10(水)給食開始、学校だより発行日



↓高学年は必ず書いてお家の方に見せ、提出しましょう。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・きりとりせん・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
＜わたしのこえ＞ 12月 ※こころがあたたかくなったこと、がんばったこと、やってみたいことなど、ぜひしょうかいしてね。

ねん 名まえ：

<保護者の声>

～11月号返信より～



◇インフルエンザの猛威を受け、学級閉鎖や学校閉鎖が相次いだ11月。健康な生活の大切さを痛感させられる中、子供たちは小中音楽会&ふるさとまつり出演(5・6年)をはじめ、数多くの行事としっかり向き合い、がんばってきました。毎日のカメラ取材とブログ作成を通して、行事や体験活動はもちろん、日々の授業や生活にも前向きな姿勢で仲間と共に楽しんでいる子供たちの意欲とたくましさで感動する毎日です。

◇今回の返信の中に、我が子の声に返答するメッセージがいくつかありました。家族間での言葉のキャッチボールは素敵だなと思いましたし、このおたよりが少しでもそういったコミュニケーションのお役に立つとしたらうれしいことだなと思いました。

【低学年(1～3年)】

- *インフルにかからなかった強い体。これからも、元気いっぱい学校に行こうね。
- *かけ算をがんばっている我が子。最初はむずかしさからイヤイヤでしたが、合格をもらい、ほめてもらえることでやる気が出てきて、最近自分から練習しています。一生懸命の時には泣きながら向き合っている姿に、親も見習わなくてはと思わされます。
- *ピアノの上手なあこがれの先生がいると、自分もがんばろうと思えるね!!
- *頑張っています☆彡



【高学年(4～6年)】

- *ヨシタケシンスケさんの作品は、わたしも大好きです。少し違った視点でものごとをとらえることで、いろんな世界観があるんだと…おもしろいですね。
- *子も一人の人間。我が子だろうと性格、考え、行動に違いがあるのが当たり前。大人だから、親だからと意見を押し付けず、その子、その子によりそい、これからも本音で話し合える関係でありたいです。
- *陸上記録会、去年は3位だったけど、今年は1位になれてすごく嬉しかったですね。
- *一つ一つの行事が終わっていき、さみしい感じがします。学校閉鎖中、一生懸命音楽発表会の練習をしている姿を見ました。自分で今何をしたらよいか考えて、休みの間も過ごしている姿に成長を感じました。がんばって、いい発表会になりますように♡
- *初めての音楽会。夏休み中は難しくてなかなか弾けずの状態でしたが、今はとても上達した様子で、とても楽しみにしています。
- *もうすぐ音楽会なので、家族みんな、とても楽しみにしています。
- *インフルで閉校になり、一週間普段の生活が送れず、その中でも健康のありがたさ、普段の生活のありがたさを親子で感じました(^_^)我が子は、「いっぱい対策してきたのにインフルになった」と学校をかばうところも、学校の生活が楽しいんだろうなと思います。



.....きりとせん.....
<保護者の声> 12月 ※感想やご意見、ご要望など、ぜひお書きの上、ご提出ください。(一部紹介させていただきます。)

年 保護者氏名:

*先日、具合が悪くなった子供を迎えに行ったら、子供に「仕事に迷惑かけてごめんね」と言われ、驚かされました。それと同時に、そんな言葉をかけられるようになったのかと嬉しく思った瞬間でした。

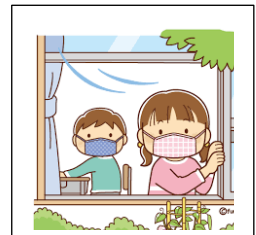
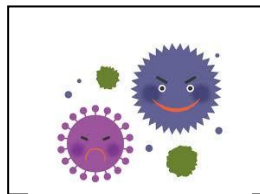
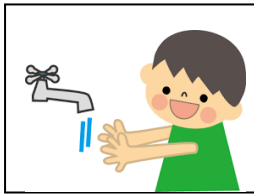
*一気に広がってしまった感染症でした。もう少し早く学級閉鎖や学校閉鎖にすべきではなかったかと思えます。

■新型コロナウイルス5類移行の5月以来、日常的マスク着用の習慣がなくなったことや学校外の場所での交流機会の増加が感染リスクを高めています。また、気候の影響等によって様々なウイルス感染流行の時期がコロナ禍以前と大きく異なってきています。このようなことから、日頃より、風邪予防とウイルス感染拡大防止の呼びかけや指導を行い、管理職・養護教諭・担任が連携しながら早退・欠席・出席停止者の確認や健康状態の把握に努めていても、感染状況を予測したり、具体的な対応や措置を判断したりする基準やタイミングが難しくなっているのも事実です。だからこそ、今回の感染経験を通して、少しの変化に対してもより強い危機意識を持って対応することと、専門家である学校医への早期相談の必要性の2つを痛感しています。



*今回の学級・学校閉鎖は、もう少し早めでも良かったんじゃないかなと思いました。タブレットでオンライン授業も出来ますし、感染者が多くなってからだとオンライン授業すら出来ませんし…。次回からは早めをお願いしたいです。

■保護者の皆様にとって、大切なお子様の健康安全に関わることでありますから、感染確認数に関係なく体調不良者が多数確認された段階で水際防止を求める声が数多く上がるのももっともなことです。確かに、早めに閉鎖措置をとれば感染拡大のリスクは減らせますが、感染確認数が少ない段階でその都度閉鎖措置をとることが繰り返されると、授業日数・授業時数の確保が出来なくなってしまいう現実もあります。(※現段階ではオンライン授業をしたからといって授業日・授業時数としてカウント出来ないため) 今後も、感染症とつきあいながらの学校生活が続いていきますし、今回のことを教訓に、子供の健康安全を最優先に、いかにして学校での学びの場を保障していくとよいか、保護者の皆様のご意見も踏まえ、オンラインに頼る部分も生かしながら考え、対応・判断していきたいと思っています。



<人権週間に合わせて、11/28(火)人権集会での校長講話をご紹介します>

皆さん、こんにちは。口名田小学校では、昨日11月27日から来月12月8日までの二週間に校内人権週間として様々な活動が計画されていて、校長先生はとても楽しみにしています。今日は、そのメインイベントの人権集会を開くにあたり、PTA 副会長さんからのご紹介とご案内でゲストティーチャーとして市内在住の「みょうしょうさん」にお越し頂きました。「みょうしょうさん」は、大人になってから目が見えなくなるというハンディキャップを抱えることになったそうです。日々の生活の中でご苦労は多いものと推察しますが、たった2回お会いして少しお話しただけですが、周りの人々に幸せな気持ちを与えてくださる素敵な方だと思えました。人権集会の後半、そんな素敵なゲストの方にご登場頂きます。若い頃、専門的に勉強されて音楽の道に進み歌手として活動されていたご経験や、ハンディキャップを抱えた生活の中でお感じになっておられることなどをもとにした普段なかなか聞けないお話やできない体験を、口名田小のみんなが直接受け取れる、とても素晴らしい機会を頂けること、心より感謝いたします。どうぞよろしく願いいたします。

人権集会の前半は人権学習への皆さんの取組、特に「みえるとか みえないとか」の学習で学んだことを中心とした各学年からの発表があります。児童の皆さんと先生方、そしてゲストの方と一緒に発表を聞きながら、「今のみんなと未来のみんなが、夢を持って、楽しみながら、幸せいっぱい学校生活を過ごすにはどうすればいいのだろう?」ということをしっかりと考えていきましょう。

ところで、皆さんは、なぜこの時期に人権週間をするのか知っていますか? 難しいお話になりますが、本校だけでなく日本の国を挙げて全国的に行う人権週間は12月4日から12月10日の一週間となります。12月10日は1948年に国際連合第3回総会において世界人権宣言が採択された日です。法務省の人権擁護機関では、12月10日を「人権デー」とし、その日を最終日とする一週間を「人権週間」と定めて、1949年から毎年全国的に啓発活動を特に強化して行っており、今年で75回目となります。テレビや新聞などでいろんな活動が紹介されたり、市内でも講演会や人権イベントが開かれたりします。ぜひ、人権週間を通して、お互いの人権を尊重すること、つまり、どんな人と一緒にいても、お互いのことをちゃんと考えて、どんな人でも生きやすく暮らしやすい生活にするために、自分ができることをしっかりと考えていきましょう。

さて、校長先生は、いろんな人の持っているいろんな当たり前を大事にしたいと思っていますが、絶対に大事にしてはいけない当たり前もあると思っています。詳しくは学校だより12月号で紹介するので、特に高学年の人はしっかり読んでください。校長先生は、人の命を軽く扱ったり、人を差別したり蔑んだり貶めたりいじめたりして反省しない人が絶対に許しません。そんな「人権をうばう人」や「人権をうばわれて悲しい思いをする人」がこの学校に一人も出ないようにみんなががんばっていくこと」を「口名田小の人権宣言」としてお話を終わります。